

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-58	中学校	数 学	数 学	2
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	806	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 2		
	807	見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学 2 探究ノート		

## 1. 編修の基本方針

新たな社会の姿として Society 5.0 が提唱されるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。すでにある社会的な諸問題に加え、従来には見られなかったような課題を抱えるようになる中で、未来を生きる中学生には、それらを解決に導く力と、困難に対して果敢に挑戦する積極性を身につけることが求められます。数学は、複雑な事象を簡潔に表現したり、事象の仕組みを解明したりする際に大変役に立ちます。他者と協働しながら論理的・批判的に思考し、創造的に問題を解決する学びを通して、中学生が確かな数学の力と数学を活用しようとする態度を身につけ、社会の継続的な発展・維持に主体的に参画するようになることを目指して、この教科書をつくりました。

## 教科書編修における 4 つの理念！

1

数学の基礎的・基本的な知識や技能が  
確実に身につけ、豊かな人生を送る  
ための基盤をつくります。

2

数学的な見方・考え方や自己の考えを  
表現する力が、日々の学びを通して  
自然に身につきます。

3

個に応じて力を伸ばし、創造性を培い、  
身につけたことを生活の中で活用する  
力を高めます。

4

生命や自然，伝統や文化，他国を尊重  
するとともに，社会をよりよく  
しようとする態度を養います。



# 1

数学の基礎的・基本的な知識や技能が確実に身につく、豊かな人生を送るための基盤をつくります。

- 各章の学習に入る前に、その章に関連する既習事項を確認できるようにしています。
- 丁寧な説明と豊富な例示で、生徒が独力でも読み進められるようにしています。
- 全国学力・学習状況調査等で課題が見られる内容は、とくに丁寧に扱っています。  
(例) 証明の必要性和意味の理解に課題が見られることから、図形の性質の証明に入る前に証明の必要性を強調しています。(本冊 p.140)
- 巻末の演習ページに、教科書本文の内容を確認できる問題を豊富に掲載しています。

ふりかえり

### 1章 式の計算 の学習の前に

1. 文字式の表し方

- [1] 乗法の記号  $\times$  をはぶく。
- [2] 除法の記号  $\div$  を使わず、分数の形に書く。
- [3] 文字と数の積では、数を文字の前に書く。
- [4] 同じ文字の積では、指数を使って書く。

表し方の例

$3x$	$\frac{a}{2}$	$a^2bc$
------	---------------	---------

次の式を、文字式の表し方にしたがって書きなさい。

- (1)  $a \times b \div c$
- (2)  $x \times 3 \times y$
- (3)  $2 \times a \times a \times b$

【既習事項の振り返り】(本冊 p.14 ほか)

チャレンジ編

### 第1章 式の計算

力をつけよう!

● 多項式の項、次数 □ 16~18ページ

1 多項式  $3x^2 - x + 5$  のすべての項を答えなさい。また、この多項式の次数を答えなさい。

【巻末演習ページ：チャレンジ編】(本冊 p.207 ~ 227)

# 2

数学的な見方・考え方や自己の考えを表現する力が、日々の学びを通して自然に身につきます。

- Q や TRY, その他生徒に考えさせるような問いかけを各所にバランスよく配置し、これまでと変わらない授業時数の中で、**数学的活動を効果的に取り入れることができるように**しています。
- 数学的活動を意図した場面には、生徒たちが**数学的な見方・考え方**をはたらかせながら解決に向かう姿を**対話形式**で掲載し、紙面上で**授業の流れを見てとれるように**しています。活動を行う前の見通しとしても、活動後の振り返りとしても活用することができます。
- 事実・方法・理由などを説明する問い、自己の考えを他者に伝える機会を増やすなど、**言語活動を充実させるように**しています。

Q 例1の解答例では、奇数を  $2n+1$  と表しています。偶数と同じ  $m$  を使って  $2m+1$  としなかったのはなぜでしょうか。

先生: 偶数を  $2m$ , 奇数を  $2m+1$  とおいて考えてみましょう。

ひびきさん: 具体的な値を入れて考えてみます。

みかさん: 表にしてみるといいかもしれません。

【文字式を利用した説明に関するQと対話】(本冊 p.31)

Q 上のように、 $n$  角形の外角の和を求めると、式の中から文字の  $n$  が消えてしまいました。このことから、どのようなことがわかりますか。

【多角形の外角の和に関するQ】(本冊 p.120)

### TRY2 角の大きさを求めよう。

右の図において、 $\ell \parallel m$  のとき、 $\angle x$  の大きさを求めようと思います。直線を1本かき加えて考えてみましょう。また、考えた方法をほかの人に説明しましょう。

かなさん: 三角形をつくって、錯角を使ったよ。

ひびきさん: 直角三角形を2つつくったよ。

まなさん: 三角形はないけど、これで求められたよ。

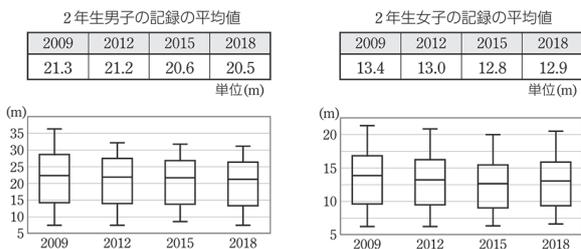
みかさん: 四角形はどうか?

先生: 直線をかき加えて、角度が求められる図形をつくるといいですね。

【方法を見いだし説明する TRY と対話】(本冊 p.116)

### TRY1 ハンドボール投げのデータの傾向を調べよう。

ある中学校の体力テストのハンドボール投げのデータから、2009年、2012年、2015年、2018年の平均値の表と、箱ひげ図をつくと下のようになりました。データの傾向について、気づいたことを答えましょう。また、そのように考えた理由を説明しましょう。



【理由を説明する TRY】(本冊 p.182)

# 3

個に応じて力を伸ばし、創造性を培い、身につけたことを生活の中で活用する力を高めます。

- **学んだ内容を活用して解決するタイプの TRY** を各所に設け、数学の有用性が感じられるようにしています。生徒が**多様な考え**を出し合いながら、解決を目指す活動が行えます。
- **現実の世界の問題と数学の世界の問題**をバランスよく配置し、また、必要に応じてそれらが相互につながるようにしています。
- 「説明しよう」「調べよう」など、活動的な話題を各所に設け、興味・関心に応じた取り扱いができるようにしています。
- **ICT の活用**

「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類の Link アイコンでインターネットを介して教科書とデジタルコンテンツがリンクし、生徒個人や学校環境に応じた対応がとれるようにしています。



<https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/02/index.html>



**TRY1 スタートラインの位置を決めよう。**

陸上競技用のトラックにおいて、図のようにゴールラインを決めました。このトラックを1周する競技を行うとき、各レーンのスタートラインはどのように設定すればよいでしょうか。ただし、走る距離は、各レーンの内側のラインの長さと考えます。

【文字式を利用する TRY】(本冊 p.34)

【本冊 p.119 TRY2 に対応したイメージコンテンツ】

## ● 別冊

別冊には、本冊の内容を深め、学びを発展させるための素材を掲載しています。別冊の内容は、生徒の学習状況に合わせて、時期や分量を自由に決めて取り扱うことができます。巻末に、活動を円滑に進めるためのワークシートを用意しています。

【探究題材：連続する整数の和】(別冊 p.4 ~ 7)

【ワークシート：連続する整数の和】(別冊 p.34 ~ 35)

# 4

生命や自然、伝統や文化、他国を尊重するとともに、社会をよりよくしようとする態度を養います。

- 福祉・資源・地球環境など私たちが抱える諸問題について、数学を学びながら自然な形で触れられるようにしています。



【バリアフリーに関連する写真】(本冊 p.79)



【ボランティアに関連する写真】(本冊 p.63)

**LED 電球はお得？**

日本では、温室効果ガスの排出量を削減するため、省エネ効果の高い LED 電球などへの切り替えがよびかけられています。

下の表は一般的な LED 電球、蛍光灯型電球、白熱電球の特徴をまとめたものです。ただし、各電球は 1日に10時間点灯させるものとしています。

【省エネに関する話題】(本冊 p.202)

## 2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
本冊全体		日本各地の話題・写真を取り上げ、我が国と郷土に対する理解が深まるようにしました。(第5号)	本冊全体
		授業における活動の指針になるようにペア学習、グループ学習を想定した対話を各所に設け、自他の敬愛と協力を重んじる態度が養われるようにしました。(第3号)	本冊全体
巻頭		「レポートの書き方」の中で、テーマの選び方を紹介し、真理を求める態度が養われるようにしました。(第1号)	本冊 p.12, 13
1章	式の計算	カレンダーの中から数に関する法則を自由に見いだす問題を通して、創造性が培われるようにしました。(第2号)	本冊 p.39
2章	連立方程式	職場体験の問題を取り上げ、勤労を重んずる態度と社会に参画する意識が養われるようにしました。(第2, 3号)	本冊 p.58
3章	1次関数	1次関数のグラフの傾きに関連させてスロープの勾配を取り上げ、公共の精神に基づく態度が養われるように配慮しました。(第3号)	本冊 p.79
4章	図形の性質と合同	身のまわりのデザインを取り上げ、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.105
5章	三角形と四角形	導入として折り紙を取り上げ、生活との関連を重視するとともに我が国の文化を尊重しようとする態度が養われるようにしました。(第2, 5号)	本冊 p.139
6章	データの活用	中学生の体力の変化に関する話題を通して、健やかな身体を養う意識が養われるようにしました。(第1号)	本冊 p.182, 183
7章	確率	くじを引くときの順番と当たりやすさに関する問題を取り上げ、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.196
数学旅行		ビッグデータとAI、自動運転システムの話題を通して、職業及び生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.205
ぐんぐんのぼそ チャレンジ編		本文の内容を深めるための問題を充実させ、幅広い知識と教養が身につくようにしました。(第1号)	本冊 p.207 ~ 227
別冊全体		本冊で学んだ内容から新たな疑問や課題を見だし、数学的活動を通して主体的に解決を目指すようすを、生徒たちの具体的な対話として掲載することで、真理を求める態度や自主・自律の精神が自然と養われるようにしました。(第1号)	別冊全体
		数学の体系的つながりを重視し、自然な形で学びを深められるようにすることで、個に応じて能力を伸ばすことができるようにしました。(第2号)	別冊全体

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

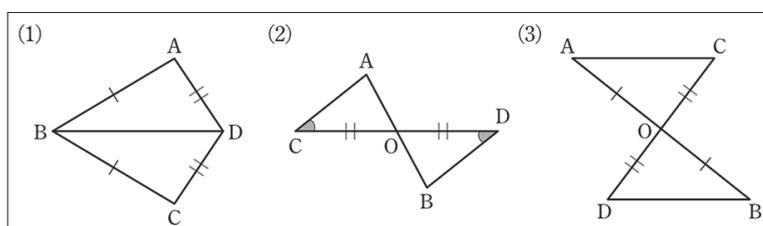
教育基本法や学校教育法に示された義務教育の目的・目標を達成するために、以下のような配慮をしています。

#### 学びのつながり

- 必要に応じて小学校や中学1年の学習内容に触れ、内容の系統性を理解できるようにしています。(本冊 p.44, 117, 124 など)
- 中学2年の学習内容を、領域ごとに整理しやすい形でまとめています。(本冊 p.228 ~ 235)  
中学1年とのつながりも確認できるようにしています。
- 別冊では、高校数学につながる要素をもつ内容も扱っています。(別冊 p.8 ~ 12, p.14 ~ 17)  
高度な数学につながる考え方に触れることができます。

#### ユニバーサルデザイン

- 全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで用い、文章は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。
- カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。また、全体を、特別支援教育の観点から、専門家が検査しています。
- 奇数ページにツメ見出しをつけ、ページの検索性が高まるようにしています。
- 太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。
- 図の中にある、線分や角度のマークなどを大きく、見やすいものにしています。



- グラフや図をかく問題などについては、教科書中にかき込みやすくなるように、小口(本の外側)に図を配置しています。

#### 他教科とのつながり

- 食塩水の問題を取り上げ、理科で学ぶ内容と数学の関連が理解できるようにしています。(本冊 p.213)

**問7** 次の1次関数のグラフをかきなさい。

(1)  $y=2x+1$

(2)  $y=-x-3$

(3)  $y=-\frac{2}{3}x+2$

**問8** 次の1次関数のグラフをかきなさい。

(1)  $y=x-9$

(2)  $y=-\frac{1}{2}x+\frac{5}{2}$

(本冊 p.82)

#### 学び方に対する意識を高めるくふう

- 「学習の進め方」のページを通して、主体的な学びの進め方を紹介しています。(本冊 p.8, 9)
- 「ノートづくり方」、「レポートの書き方」を取り上げ、主体的に学習する態度を養えるようにしています。(本冊 p.10 ~ 13)
- 各項目の学びの主たる目標を、マークで具体的に示し、学習の見通しがもてるようにしています。
- 後見返しのチェックシートで、「何ができるようになったか」を自己評価できるようにしています。

# 編修趣意書

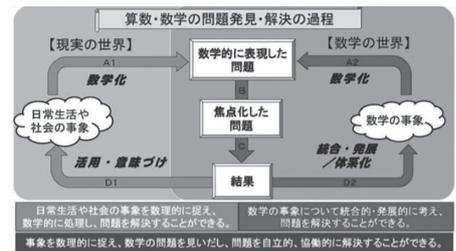
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-58	中学校	数学	数学	2
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	806 807	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 2  見方・考え方がはたらき, 問題解決のチカラが高まる これからの 数学 2 探究ノート		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

**1** 日々の学びを通して, 生徒たちが自分で考え, 問題解決に向かう力を身につけることができるようにつまみしています。

◆ 右の図の問題発見・解決の過程に基づき, 学習内容を習得できるようにしています。それぞれの場面においてポイントとなる箇所には, キャラクターたちのリアルな対話が記されています。この教科書を使う生徒たちが**数学的な見方・考え方をはたらかせ**るきっかけとなり, **主体的・対話的で深い学び**を実現します。



(学習指導要領解説より引用)

### 既習事項をもとに考える

みかさん: 小学校では, 三角形の紙を切って角を1か所に集めて並べたね。

ひびきさん: 合同な三角形をしきつめる方法もあったよ。

(本冊 p.112)

### 性質を見いだす

かなさん: どれも中点で交わっているね。

みかさん: 垂直に交わっているものもそうでないものがあるよ。

まなとさん: 長さが等しいものもあるね。

ひびきさん: 表の形に整理してみたらどうかな。

	対角線の交わり方	対角線の長さ
長方形		
ひし形		
正方形		

(本冊 p.163)

### 多様な見方をする

みかさん: ㊸と㊹のように, となりどしうの角の和は, 棒を動かしても  $180^\circ$  のままだ。

ひびきさん: ㊸と㊺のように, 向かい合った角は等しくなっているように見えるよ。

(本冊 p.106)

### 誤りをもとに考える

みかさん: 頂点が増えると外角の数も増えるから, 外角の和は大きくなっていくのかな?

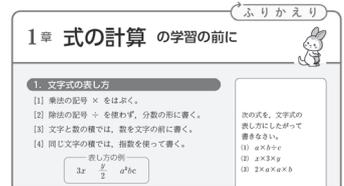
ひびきさん: でも, 外角1つの角度は数が増えるにつれて小さくなっているよ。

(本冊 p.119)

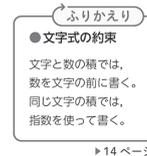
# 2

小学校もふくめた学習内容のつながりに配慮し、  
基本的な知識・技能を確実に身につけることができるようにしています。

- ◆ 各章の初めに「ふりかえり」として、その章の内容に関係する既習事項を、確認問題とともにまとめています。  
また、本文中においても既習事項を確認できるようにしています。
- ◆ 新たな学習事項と既習事項とのつながり、共通点やちがいがわかるように記述しています。
- ◆ 例はなるべく丁寧に示すようにしています。また、例に汎用性をもたせつつ、例と問の間に大きなギャップが出ないように配慮しています。
- ◆ 巻末演習ページ「チャレンジ編」にも標準的な問題を多数掲載しています。また、弊社ホームページを通じて、教科書の補充問題に取り組めるようになっています。



【既習事項の振り返り】(本冊 p.14)



▶14 ページ

(本冊 p.24)



▶113 ページ

(本冊 p.119)

**問5** 次の計算をせよ。

(1)  $2(x+2y)+(2x-y)$       (2)  $3(3a-2b)+4(-a+b)$

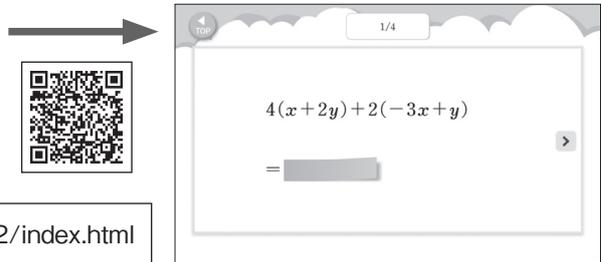
(3)  $6(3x+y)-2(x-4y)$       (4)  $3(m-n)-4(2m+3n)$

(5)  $4(2a-b)+5(a+2b-3)$       (6)  $2(x^2+3x-2)-3(2x-1)$



【問いの補充問題へのLinkアイコン】  
(本冊 p.22)

<https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/02/index.html>



# 3

思考力・判断力・表現力を高めることができるように、  
知識・技能を活用する機会、学びを発展させる機会を豊富に設けています。

- ◆ 学んだ内容を活用する機会を豊富に設け、**数学の有用性を感じられるようにしています。**生徒が多様な考えを出し合いながら、解決を目指す活動が行えます。
- ◆ Link アイコンで**全国学力・学習状況調査問題**とつながり、より効果的な学習を行うことができるようになっています。
- ◆ 各章の**学びから発生する自然な疑問**を扱った題材や**日常生活の中にある数学**に着目した題材を別冊で取り上げ、**知識・技能の活用や学びの発展の機会**がもてるようにしています。

点Bが直線  $l$  より上や直線  $m$  より下になったときは、  
 $\angle x$  と  $\angle a$ 、 $\angle c$  の間の関係はどうなるの？

**課題**

右の図のように、点Bが直線  $l$  より上まで移動したとき、角の大きさの関係はどのようになりますか。また、なぜそのような結果になるのか、理由を説明してみましょう。

注 点Bは、半直線CAよりも左側にあるものとします。

【点Bの位置を変えて考察】(別冊 p.19, 20)

**課題**

大型犬、パンダ、キリン、象が、いま生まれたとします。それらの動物の年齢を人間の年齢におきかえたとき、中学生のみなさんがすべての動物に年齢で追い抜かれるのはいつになるか求めてみましょう。その時期をどのようにして求めたかも説明しましょう。

【動物の成長を1次関数と見る】(別冊 p.32)

**TRY2** 解決方法を考えて説明しよう。

みかさんは、右のような開け閉めできる2段重ねの工具箱を作っています。上の段の箱を支えるためのアームを左右に1本ずつ、表と裏に取り付けてみましたが、開け閉めの途中で、下の図のように上の段が傾いてしまいます。みかさんは、アームをさらに取り付けて上の段が傾かないようにしようと考えています。アームはどのように取り付けたらよいですか。考えた方法を説明しましょう。

右の図のように片側だけで考えます。アームをもう1本取り付けて動きをコントロールしましょう。どこに付ければうまくいきますか？

先生

平行になるように付けてみるのはいかがでしょうか？

高さはそろっていないとダメなのかな？

【平行四辺形を利用して解決する】(本冊 p.161)

## 4 学習内容の習得と合わせて、学び方も身につくようにしています。

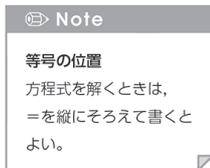
巻頭に、学び方に関する紹介のページを設けています。

### ◆ 学習の進め方

グループ学習を行ったり、発表したりする際の注意点をまとめています。

### ◆ ノートのつくり方

ノートのとり方全般に関する注意点をまとめています。また、書き方の具体的な注意点がある場合は、「Note」として、本文脇に示すようにしています。



(本冊 p.49)

### ◆ レポートを書こう

レポートの書き方についてまとめています。レポートを書くときの注意点だけでなく、テーマの選び方についても触れています。

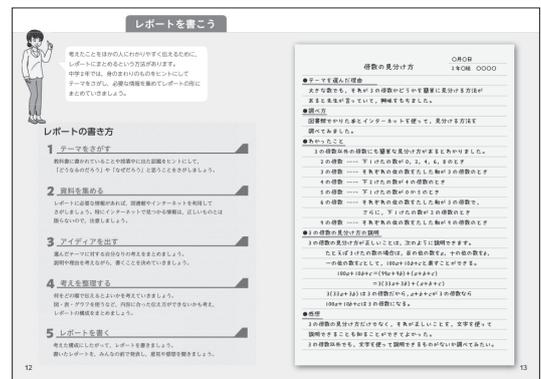
### ◆ ICTの活用

「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類のアイコンは、補助教材へのリンクマークです。家庭学習にも活用することができます。

- グループで話し合うときは
- 自分の意見を言うときは、考えていることをわかりやすく伝えましょう。
  - まちがっているかもしれないと思って、積極的に発言しましょう。
  - ほかの人の意見をよく聞きましょう。また、ほかの人の意見に対して思ったことを伝えましょう。
  - 誰がどんなことを言ったか、書きとめておくようにしましょう。
  - わからないと思ったことは、質問しましょう。
  - 全員が発言できるようにしましょう。



【学習の進め方】(本冊 p.8, 9)



【レポートを書こう】(本冊 p.12, 13)

## 5 教科書のつくりにも配慮して、学習効果が高まるようにしています。

- ◆ 1時間の区切りが、ページの途中にならないようにしています。
- ◆ 重量が生徒の負担にならないように、本冊と別冊に分けています。また、印刷には軽くて丈夫な紙を使用しています。
- ◆ ユニバーサルデザインに基づいてつくられています。文字は全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで使い、本文は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。また、太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。
- ◆ 色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。
- ◆ 印刷には、植物油インクを使用し、環境に配慮しています。
- ◆ 本冊、別冊とも、堅牢なつくりになるように製本しています。また、生徒の安全面を考慮して、針金を使わない製本様式を採用しています。

これからの 学びの形に合った  
数学 教科書です。



## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章の学習の前に <b>1章 式の計算</b> 1 式の計算 2 文字式の利用  問題	A 数と式 (1) A(1) ア(ア) A(1) ア(イ) A(1) イ(ア) A(1) ア(イ) A(1) ア(ウ) A(1) ア(エ) A(1) イ(イ)	14 ページ <b>15 ~ 39 ページ</b> 16 ~ 29 ページ 30 ~ 37 ページ  38 ~ 39 ページ	15
2章の学習の前に <b>2章 連立方程式</b> 1 連立方程式  2 連立方程式の利用 問題	A 数と式 (2) A(2) ア(ア) A(2) ア(イ) A(2) ア(ウ) A(2) イ(ア) A(2) イ(イ)	40 ページ <b>41 ~ 67 ページ</b> 42 ~ 57 ページ  58 ~ 65 ページ 66 ~ 67 ページ	15
3章の学習の前に <b>3章 1次関数</b> 1 1次関数 2 1次関数と方程式 3 1次関数の利用 問題	C 関数 (1) C(1) ア(ア) C(1) ア(イ) C(1) イ(ア) C(1) ア(ウ) C(1) ア(イ) C(1) イ(イ)	68 ページ <b>69 ~ 103 ページ</b> 70 ~ 87 ページ 88 ~ 94 ページ 95 ~ 101 ページ 102 ~ 103 ページ	18
4章の学習の前に <b>4章 図形の性質と合同</b> 1 平行線と角 2 三角形の合同 3 証明 問題	B 図形 (1)(2) B(1) ア(ア) B(1) ア(イ) B(1) イ(ア) B(2) ア(ア) B(2) ア(イ)	104 ページ <b>105 ~ 137 ページ</b> 106 ~ 121 ページ 122 ~ 127 ページ 128 ~ 135 ページ 136 ~ 137 ページ	18
5章の学習の前に <b>5章 三角形と四角形</b> 1 三角形 2 四角形 問題	B 図形 (2) B(2) イ(ア) B(2) イ(イ) B(2) イ(ア) B(2) イ(イ) 内容の取扱い(1)	138 ページ <b>139 ~ 169 ページ</b> 140 ~ 152 ページ 153 ~ 167 ページ 168 ~ 169 ページ	19
6章の学習の前に <b>6章 データの活用</b> 1 データの散らばり 2 データの傾向と調査 問題	D データの活用 (1) D(1) ア(ア) D(1) ア(イ) D(1) イ(ア) D(1) イ(ア)	170 ページ <b>171 ~ 185 ページ</b> 172 ~ 181 ページ 182 ~ 183 ページ 184 ~ 185 ページ	7
7章の学習の前に <b>7章 確率</b> 1 確率  問題	D データの活用 (2) D(2) ア(ア) D(2) ア(イ) D(2) イ(ア) D(2) イ(イ)	186 ページ <b>187 ~ 198 ページ</b> 188 ~ 197 ページ  198 ページ	6

<b>数学旅行</b> 温度の単位 LED 電球はお得？ 星形の図形の角の和 ユークリッド原論 ビッグデータ 誕生日が同じ日である人がいる確率		<b>199～206 ページ</b> 200～201 ページ 202 ページ 203 ページ 204 ページ 205 ページ 206 ページ	
<b>ぐんぐんのぼそう          チャレンジ編</b>		<b>207～227 ページ</b>	
		計	98

以下の内容と別冊は、生徒の実態や学校の状況に応じて取り扱うことができます。



### 別冊の内容

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>【探究】</b> ① 連続する整数の和 ② 文字が3つの方程式 <b>【発展】</b> ③ グラフを左右に移動したら <b>【発展】</b> ④ 点Bが動いたときの角の大きさ ⑤ 四角形の合同条件を考える		4～7 ページ 8～13 ページ 14～17 ページ 18～21 ページ 22～25 ページ	
<b>【課題学習】</b> ⑥ 長さの感覚を調べよう ⑦ 動物の年齢を人間に換算する		26～29 ページ 30～33 ページ	

# 編 修 趣 意 書

( 発展的な学習内容の記述 )

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-58	中学校	数 学	数 学	2
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	806  807	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 2  見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学 2 探究ノート		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
本冊 206	誕生日が同じ日である人がいる 確率	1	2 内容 D データの活用 (2) イ(イ) 「確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること」	1
別冊 8～12 36, 37	文字が3つの方程式	1	2 内容 A 数と式 (2) ア(イ) 「連立二元一次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解すること」 2 内容 A 数と式 (2) イ(イ) 「連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること」	7
別冊 14～17 38, 39	グラフを左右に移動したら	1	2 内容 C 関数 (1) イ(ア) 「変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること」	6
合 計				14

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容